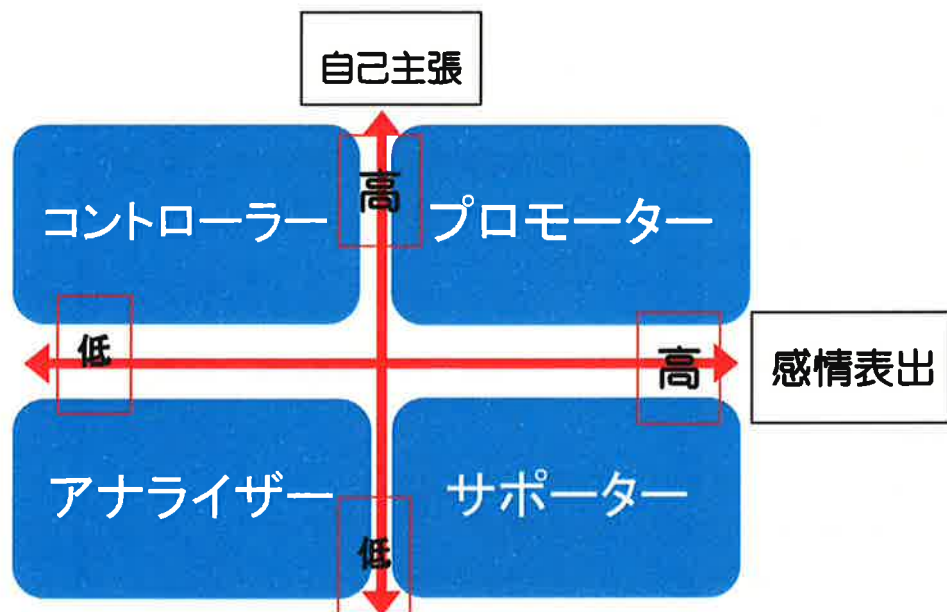


途中配布資料

～タイプ別取り扱い説明書～

これは、性格を特定するものではなく、タイプに優劣はありません。
人との関わり方の可能性を拓げるための一つの視点として参考にしてください。はっきりとしたタイプが出た人は、その生き方でいくと決めている人です。どれも同じくらいの点が出た人は、自分のスタンスが色々であるといえます。



コントローラータイプ

人も場も支配したがる 「判断」タイプ

【特徴】

- ・自分の思い通りに物事を進めることを好む
- ・行動的、野心的、エネルギッシュ、決断力がある
- ・支配的、威圧的、人の話をあまり聞かない
- ・やさしい感情を表すのが苦手

●このタイプの人が気をつけること

- ・自分が必要と思う以上に10倍人を褒める事です。
「このくらい出来て当然！」と思うことを褒める事です。
- ・あなたには気配りが足りません。細やかな気遣いをすることです。
- ・簡単なアドバイスだけにして問題解決してやろうと思わない事です。
深入りはうっとおしがられます。

- ・問い詰めない。質問し続けられない。説教しない。
- ・任せること。あれこれ指図しないことです。
- ・器を大きく、穏やかにしておきます。あなたは怖いと思われることに気づきましょう。

●このタイプの人と接する時のポイント

- ・頭ごなしにものを言うと、耳も心も閉ざしてしまう。指示ではなく、依頼する。
 - ・くどくど長く話すと、ショートを起こす。単刀直入に依頼する。
 - ・コントロールしないで、その人が自分から動くように仕向ける。
- ・予想外の質問には挑戦的になる。
- ・質問ではなく、「教えて欲しい。」と言うと喜ぶ。
- ・改まって下手な褒められ方は好きではない。タイミングよくサラッとほめる。
- ・目標を達成していない途中で褒められても喜ばない。結果を褒められると喜ぶ。
- ・報道相をしにくいオーラが出ているのに、するともものすごく喜ぶ。
- ・少々否定しても凹まないので大丈夫。

プロモータータイプ

注目こそがやる気の源 「影響」タイプ

【特徴】

- ・自分のオリジナルのアイデアを出すことを重視する
- ・人と活気のある楽しいことをすることを好む
- ・計画性に乏しく細かいことはあまり気に留めない
- ・変化、混乱に強く、順応性が高い
- ・自分では良く話すが、人の話はあまり聞かない

●このタイプの人気がつけること

- ・軽い人間に見られがちです。軽率な行動は謹み、動く前に考えたり、理論性を身につけましょう。
- ・いつも何かにすぐ気を取られています。集中力をつけ継続しなければ成功しません。
- ・あなたの調子のよさについていける人ばかりじゃないことを知っておきましょう。
- ・会話をバンバン変えないで、相手に気配りを持ちましょう。相手がいてこそ会話です。
- ・自分が褒められたいなら、相手のことも内面を良く見て、相手も褒めましょう。

●このタイプの人と接する時のポイント

- ・質問されるのが好き。
- ・表現に擬音が多いから、想像しながら会話する。
- ・めまぐるしく変わる会話についていく事。
- ・喜び、嬉しがって話を聞くこと

- ・数字や理論ばかり話さない。余り関心がない
- ・細かいチェックは厳禁。ノリと勘と衝動で動くことを理解する。
- ・良く考えて発言や行動はしない。シミュレーションが苦手
- ・多少の失敗には目をつむる事
- ・なんでもとにかく褒める。さすが！すごい！天才！最高！と言われるのが大好き。
- ・否定されるのが大嫌い
- ・修正するときは、先ずビジョンを伝え、褒めて、次にアドバイスすると素直になる

サポータータイプ

人間関係が何より大事 「合意」タイプ

【特徴】

- ・人を援助することを好む
- ・あたたかく、穏やかな性格、決断力が乏しい、リスクを冒すことに弱い
- ・人との協調性を大事にする
- ・他人の気持ちに敏感で、仕事よりも人間関係を優先させる

●このタイプの人気がつけること

- ・少し大雑把になりましょう。
- ・人が自由にやるのを寛大な心を持って許しましょう。
- ・目標や計画を立てるクセをつけましょう。
- ・決断力を付ける事。人の判断ばかりに頼ってはいけません。
- ・できないことはできないと断る勇気を持ちましょう。
- ・言葉で褒めてもらえなくても、あなたのした事は、感謝されています。

●このタイプの人と接する時のポイント

- ・人が気を悪くしないように、気を使った物言いをする人だと理解しておく。
- ・自分を犠牲にして、人に貢献しがちなので、この姿勢を十分に認めて労いの言葉をかける。
- ・とにかく認めてあげる。結果だけでなく内容やプロセスをほめる。
- ・しょっちゅう褒める事。ささいな事でも褒める。サポートしてくれた事を評価する
- ・合意を確認させる事。押し付け、命令は厳禁。
- ・何も言わずに溜めに溜めて、ある時、バーンと切れるので溜めさせない事。
- ・コントローラーが大の苦手。語気の強い言葉は大嫌い。穏やかな言葉使いを心がける事。
- ・自分の愛情を評価されないと、ある時激しく攻撃し始める。
- ・任せっきりでほったらかしてはいけない、頻りに細やかな心のケアをしてあげること。

アナライザータイプ

冷静沈着慎重派 「正しさ」タイプ

【特徴】

- ・変化や混乱に弱く行動は慎重
- ・物事を始める前にデータを集め、分析する
- ・計画を立てるのが好き
- ・物事を客観的に見ることができる
- ・失敗することに対して怖れがある

●このタイプの人が気をつけること

- ・堅く真面目に見られ、とっつきにくく見えます。自分のことをもつと話し碎けましょう。
- ・データ偏重で分析しすぎたや慎重になり過ぎないこと。
- ・変化や混乱に自らすすんであってみましょう。
- ・感情表現を表に出しよく笑いましょう。
- ・何事も深刻には捉えない事。考えすぎない事です。
- ・自分の主観も交えて話すクセをつけましょう。
- ・速い行動をするクセをつけましょう。
- ・理由のハッキリしない事も受け入れる器を持ちましょう。

●このタイプの人と接する時のポイント

- ・「すぐ動きなさい」と言うと、それだけで動けなくなってしまう
- ・不測の事態を嫌うので、データ収集、シミュレーション、リスク予想、回避法を、綿密で戦略的にやってくれる。時間はかかることを理解する。
- ・少しずつ変わりたがるので、大きな変化を強いるとプレッシャーになる
- ・感情表現が苦手なので、内面に注意を向けることが必要
- ・言葉のつながりが遅いのはよく考えているからだと理解する。
- ・感情豊かに話さないのは正しく話しているかを気にするからだと理解する。
- ・主観は正しくはないと考えて答えに困るので話す対象を絞ってあげる。
- ・その場で回答させずに時間をあげる。行動は遅いが、確実に構築していく人だと理解する。
- ・安易な褒め言葉は厳禁！具体的な細かい部分を「正確に」褒める事。
- ・このミーティングは、何故するか？何時間するか？どんなことをするか？が大事。
- ・プライバシーを聞かれるのを嫌うのでものすごく仲良くなるまで聞いてはいけない。
- ・叱咤激励すると、怒られたと思って自分の悪いところの分析を始めてしまうことを理解しておく。